

ヒノキのスプーン

西川材ヒノキの間伐材を使ってスプーンを作ります。
金具を付ければ自分だけのステキなマイスプーンに変身します。
自分で作ったものを使って料理を食べると味も格別に感じます。



対象	実施時期	定員	所要時間
4年生以上	通年	10~120人	2時間
利用者持ち物	プラザ貸し出し備品	材料	
軍手・持ち帰り用ビニル袋	穴あけ用ドリル・ナイフ・ボンド・当て布・延長コード・カラーペン・ゴミ入れバケツ	木材・お米で作ったワックス スプーンヘッド・紙やすり	

ねらい

- ・西川材間伐材活用。
- ・想像力・表現力を高める。
- ・名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。
- ・刃物の正しい使い方を学ぶ。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆体験する子ども達、もしくは団体指導者の方に、道具を準備していただきます。
- ◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

以降は、団体で進行してください。

準備（1作業台 2~3人程度）

- ① 作業台（丸太イス）を準備します。
- ② スプーンヘッドを配布します。
- ③ ヒノキ材を準備します。
- ④ ナイフの数を確認します。

実施

- ① 木材を穴あけ用ドリルの台に固定します。※ドリルは2台あります。
- ② スプーンの先端になる方の中心に、スプーンのヘッドをいれるための穴を開けます。
※穴あけ用ドリルは団体引率者（大人）が扱います。
※穴あけ用ドリルの使用は、当所職員より必ず説明を受けてください。
- ③ 木材をナイフで削り好みの形にし、紙やすりで磨いて仕上げます。
- ④ 表面に名前や絵を描きます。
- ⑤ 穴にボンドを流し込み、金具を固定します。

⑥ お米で作ったワックスを塗り、乾くまでおいておきます。

※当所職員は、団体指導者の方と共に安全管理やアドバイスをさせていただきます。活動が落ち着いたタイミングで、当所職員は事務室へ戻ります。何か不明点などあれば、事務室へお声がけください。

片付け

① 道具の数を数えます。

② 道具類は最初にあった場所に戻します。

- ・ナイフの返却は、数を確認した上で、貸出同様にまとめて返します。

③ 使用した作業台を元あった場所に戻します。

④ 下に落ちた木くずやゴミを掃除します。ゴミは当所職員が用意したゴミ入れバケツにまとめてください。

⑤ 後片づけは全員で協力して行い、次の団体が気持ちよく活動できるようにしましょう。

※片付けが終了したタイミングで、事務室へお声がけください。職員による使用した場所の確認、作成した回数と利用団体代表者の確認サインの用紙を職員から受け取り記入します。

まとめ

- ・作品を披露し合います。
- ・ふりかえり。

留意点

- ・刃物を使用します。正しい使い方を守ってケガのないよう作業してください。
- ・材料を押さえる手に軍手を装着し、刃物は素手で持つようにします。
- ・刃隣の人との距離を70cm以上はなし、刃物が当たらないようにします。
- ・穴あけ用ドリルは必ず団体指導者（大人）が扱ってください。

事前に穴あけを済ませておくと、木片をナイフで削る作業がスムーズに行なえます。

SDGs への取組

- ・国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
- ・自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切に作る気持ちを育めます。

